

「ずっと生きてる」

二本松市東和地区で有機農業を営む菅野正寿さん。

福島原子力発電所から五〇キロメートル程離れたこの地区でも影響を受ける。

放射能がどれほど降り注いだのか、風評払拭のため、二〇一一年五月より日本有機農業学会の大学研究者と住民との協働による調査を行い、現在も、安全を裏付けるデータを収集し続ける。

有機的な良い土ほどセシウム(放射性物質)を吸着し、作物の根には移行しないという原理(土の力)を知ること、その後も有機農業を続け、都市と農村の顔の見える新しい関係づくりをすすめる。消費者との交流を大切にしたい農家民宿や生物多様性を生かしたビオトープなど農業体験・里山体験を軸に持続可能な社会循環型地域を目指す。

歴史的な災害にあつても幾度も乗り越えてきた東北 先人の軌跡からも学び、仲間とともに地域の再生に挑む日々は続く。

子どもたちが野良を駆け回り、
どろんこになつて遊べるような福島にするー

それが、私たち大人の責任です。

「どろんこ天国」を聞いたとき、
原発事故前のあたりまえの日々を思い出しました。

放射能さえなければ、川で生き物を探したり、友達と草が生い茂る坂で寝転んでおしゃべりすることができたんだろうなあ…と想像できました。

5歳の時に震災が起こり、小学校に入っても、外で遊ぶには長袖長ズボンを着ないと遊ばず、土遊びもできなかったなあ…

「亡くなった方々の分も毎日を大切に生きます」というのは簡単だけど、
どうすれば大切に生きられるのか、ずっと考えています。

福島しあわせ運べるように合唱団との演奏交流にて
(福島の子どもの感想より)

福島県二本松市東和地区

「ぬのさわビオトープ」 撮影:清水則雄



創作合唱ミュージカル バックトゥザ・フーちゃんⅡ～ふくしまのこえを未来につなげ！～

脚本・作詞/清水則雄・すげの正寿 作曲/藤村記一郎 制作/愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

指揮/藤村記一郎 演出/西尾栄儀

ピアノ/夏目順子 電子ピアノ/内田有紀

客演/武藤佳子 柴田哲 声の出演/三瓶春江

合唱/愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

協力/あぶくま高原 遊雲の里ファーム 菅野正寿

◆ スタッフ

美術・舞台監督/井上知也 発声指導/鳴海卓 武藤佳子 浅野淑子
照明/坂下孝則(舞光舎) 振付/アカギ萌絵 衣装/壺内優希
音響/田牧浩(ties) チラシデザイン/雨宮都与子
撮影/清水則雄 アカギ萌絵 記録/近藤直門

◆ 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

1977年創立、名古屋の東山動物園での実話に基づく「ぞうれっしゃがやってきた」創作初演など、45年間、子どもたちの未来と平和をテーマに大人も子どもとともに歌える合唱曲を創作、国内外で演奏しています。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

二本松市が提示している「文化施設における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき、本公演を実施いたします。安全な公演のために皆様のご協力をお願いします。

ふくしま公演 『450万円賛同募金』 本公演は広く皆様からご支援を募り開催致します。

- 賛同金 A・・・1口 1,000円 (公演パンフレットにお名前を掲載させていただきます)
 - 賛同金 B・・・1口 10,000円 (お名前掲載と、福島公演報告書・公演DVDを贈呈致します)
- <お振込先> アメミヤトヨコ ゆうちょ銀行(218支店) 記号12100 番号81149231
雨宮都与子 E-mail toyoko.a@aioros.ocn.ne.jp

福島の思いを描き、未来につなげるミュージカル 福島公演成功にお力を！

■ ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃんⅡ」福島公演実行委員会

菅野正寿 (NPO ゆうきの里東和)

三瓶春江 (福島原発訴訟津島被害者原告団)

大谷敏彰 (福島教育のうたごえなごみ～ず)

原田雄一 (前浪江町商工会長)

■ 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

清水則雄 (団長・ミュージカル台本作者)

藤村記一郎 (事務局長・ミュージカル作曲指揮)